

5月定例記者会見の概要

- 1 日時 令和4年4月28日（月）17時00分～18時00分
- 2 場所 本庁舎3階 第一会議室
- 3 出席者 <報道機関>
 - ① 毎日新聞社 南相馬通信部（南相馬記者クラブ会員）
 - ② 福島民報社 南相馬支社（南相馬記者クラブ会員）
 - ③ 福島民友新聞社 相双支社（南相馬記者クラブ会員）

計 3 社

< 市側 >

- ・市長・総務部長
(テレビ会議)
- ・新田副市長・常木副市長・小高区役所長・鹿島区役所長
- ・復興企画部長・復興企画部政策担当理事
- ・市民生活部長・健康福祉部長
- ・健康福祉部新型コロナ対策担当理事・こども未来部長
- ・経済部長・経済部農林水産担当理事・経済部企業支援担当理事
- ・建設部長・総合病院事務部長・教育委員会事務局長

計 18 人

- (司会進行) 秘書課長
- (会議記録) 秘書課広報広聴係

【市政報告】

まず、3月16日に発生した福島県沖地震についてです。

4月2日から各区で生活等支援に係る市民説明会を開催いたしました。説明会では各種支援制度について説明を行い、合計991名の市民の皆様にご参加いただきました。

市民説明会でも質問が多かった、り災証明書につきましては、4月26日までの申請件数3,658件について、本日4月28日までに一次調査を全て完了しました。今後、希望される方には2次調査を実施いたします。り災調査には、福島県を含む15自治体からの派遣職員121名の皆様、本日4月28日までの延べ36日間にわたり、ご協力いただきました。

市では、り災状況に応じた、家屋の修理費用の補助や災害見舞金等の各種支援制度を設けております。5月10日からは、半壊以上に該当する家屋を対象とした解体撤去等について、申請の受付を開始いたします。

調査が完了した家屋については、順次、り災証明書の発送を進めておりますが、それと併せて支援制度についても引き続き周知をしてまいります。

また、今回の被災に伴い、復旧にあたっては多くのボランティアの皆様にお力添えをいただいております。

4月24日時点で、延べ1,095名のボランティアの皆様にご依頼を完了していただきました。

なお、4月25日から、「災害ボランティアセンター」は「被災者生活支援ボランティアセンター」に移行し、福祉団体や支援機関等と連携しながら、生活支援に重点を置いた活動に取り組んでいただいております。

この場を借りて、改めて、深く感謝申し上げます。

次に、新型コロナウイルス感染症についてです。

県内の感染者数は、4月13日に、過去最多となる731人の新規陽性者が確認された以降も、600人を超える日が見られ、感染の高止まり傾向が続いています。このことから、県は「感染拡大防止重点対策」を5月15日まで延長しております。「子どもを感染から守る」、「高齢者に感染を広げない」、「移動・会食に関するリスク回避」など、重点対策へのご協力をお願いいたします。

一方、南相馬市の感染状況は、人口10万人当たりの1週間新規陽性者数をみますと、県内他市に比べ低い水準で推移しています。

これは、市民の皆様にご実践していただいている感染防止対策や、相馬郡医師会をはじめとした医療従事者の皆様のご協力によるワクチン接種の早期実施など、一つひとつの取り組みが実を結んでいるものと捉えております。改めて御礼申し上げます。

また、市では、ゴールデンウィーク中にPCR検査センターの臨時開設を行います。これに伴い、開設日は、平日に加えて、4月30日土曜日、5月4日祝日、7日土曜日となります。無症状ではあるものの感染の不安がある場合等は積極的なご利用をお願いいたします。また、症状がある方を対象とした発熱等トリアージ外来も、4月30日土曜日、5月4日祝日に臨時開設いたします。

まもなく大型連休を迎え、人の往来が活発になることが予想されます。連休中も、マスクの着用や手指消毒等の基本的な感染防止対策の徹底を継続いただきますようお願いいたします。

次に、新型コロナウイルスのワクチン接種についてです。

まず、接種状況については、4月24日時点となりますが、南相馬市の全市民のうち、3回目のワクチン接種を完了した方の割合は75.29%で、全国の市と東京23区を加えた815自治体の中で、第2位となっております。

今後の接種スケジュールについては、5歳から11歳の小児の2回目の接種を5月7日に完了する予定です。

12歳から17歳の方の3回目の集団接種は、明日4月29日から開始し、5月1日に完了する予定です。

3回目の接種については、5月20日、21日に追加の接種日を設けます。

3回目の接種がお済みでない方は、この機会に是非ご検討ください。

次に、広島大学病院における寄附講座開設による医師派遣についてです。

4月20日に、広島大学病院と南相馬市は共同記者会見を行いました。会見では、寄附講座の開設と4月1日から市立総合病院で診療を開始している消化器科の医師派遣について、発表いたしました。

今後も、総合病院における入院や救急体制を維持すると共に、地域に不足する診療科を担うため、医師の確保へ向けた取り組みを進めてまいります。

続いて今後の主な話題について触れたいと思います。

はじめに、市議会臨時会についてです。

5月9日に第4回市議会臨時会を開催いたします。

今回の臨時会においては、3月16日に発生した福島県沖地震で被災した施設の災害復旧に係る補正予算や条例制定など議案7件の提出を予定しています。

詳細はのちほど総務部長より説明いたします。

次に、「南相馬鹿島サービスエリアのポテンシャル、多様な地域資源を活用した事業構想の構築」をテーマにした南相馬市プロジェクト研究についてです。

プロジェクトに参加する研究員は、公募枠2名、市内外の団体、企業職員10名、市職員2名の総勢14名で構成し、学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学の指導の下、事業構想に取り組みます。

第1回の研究会は5月18日に開催いたします。

詳細については改めてお知らせいたします。

次に、新庁舎の建設についてです。

現在の本庁舎は、建設から約50年以上が経過し、老朽化による機能性・経済性の低下や庁舎窓口の分散による市民サービスの低下など様々な課題を抱えていることから、市では新庁舎建設基本計画案を策定中です。5月16日から、一般の方からのご意見をいただくパブリックコメント手続を実施し、5月25日から各区で市民説明会を開催いたします。市民説明会の詳細については、改めてお知らせいたします。

誰でも利用しやすく、親しみの持てる新庁舎となるよう夏頃までの計画策定を目指し、準備を進めてまいります。

次に、植樹祭についてです。

6月5日に「第10回南相馬市鎮魂復興市民植樹祭」を小高区塚原地内で開催いたします。

「いのちを守る緑の防災林」の実現を目指して、2,000名の参加者を募集し、18,000本の苗木を植樹していただきます。新型コロナウイルスの影響により、昨年一昨年は規模を縮小したため、通常開催は3年ぶりとなります。

参加の申し込みは5月1日から、市ホームページなどで受け付けております。ぜひご参加ください。

私からの報告は以上です。

部長からの報告のあと、皆さんからのご質問をお受けします。

【質疑応答】

質問 1 :

新庁舎建設基本計画案の内容について教えてください。新庁舎の建設予定地は複数の候補地から1か所を選定したのでしょうか。

回答 1 : 市長

計画案の公表時期は、パブリックコメント手続の開始時期である5月中旬を予定している為、概略について申し上げます。原案では建設候補地を5か所挙げており、その内の1か所であるゆめはっと駐車場を建設予定地とし提案する予定です。面積は約11,000平米となります。現庁舎は取り壊した後、ゆめはっとの駐車場とする予定です。

質問 2 :

新庁舎建設基本計画案に関連して、本庁舎を取り壊すとのことですが東庁舎及び北庁舎はどうなるのでしょうか。

回答 2 : 市長

まだ決定ではありませんが、北庁舎は残し、本庁舎及び西庁舎は取り壊す予定であります。東庁舎につきましては、見通しを立てているところです。

各庁舎を取り壊す時期については、現在調整中です。

質問 3 :

今年度の相馬野馬追の開催方法については、いつ頃決定されるのでしょうか。

回答 3 : 市長

過日に開催された執行委員会で、通常どおりの開催に向けた予算や計画が承認され、現在準備を進めているところです。

以上